

2018 シラバス(科目概要・授業計画)

科目概要	基礎分野(コミュニケーション)			管理番号	15-14		
学部学科名	保健科学部 看護学部 臨床検査学科・放射線技術学科 看護学科				開講時期	1年次 前期	
授業科目名	カウンセリング技法		担当教員名	安田悠子			
授業形態	講義・演習	授業時間	15	単位数	1	選択必修区分	選択
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	良好なコミュニケーションは対人援助の基本である。カウンセリングは、相手の気持ちや考え方にコミットすることで、相手の変化を促していくための援助方法である。医療や福祉の現場で、相手との信頼関係を形成するためには「話す技術」だけではなく「聞く技術」も必要である。マクロカウンセリング技法を学ぶことによって、最も重要である「傾聴を」を中心にカウンセリングの基本を身につける						
到達目標 (150文字程度)	自らのコミュニケーションスキルを見つめ直し、改善点を見つける。 相談を受けたときに、相手の話しを傾聴できる。 相手に話を促すような質問技法を使うことができる。 医療の現場に必要なコミュニケーションスキルを身につける。						
準備学習の内容 (事前・事後学習に必要な時間等)	事前：マイクロカウンセリング技法のポイントを整理しておく。(1時間) 事後：講義で学んだことを振り返り、自分のコミュニケーションの改善点について考える。(1時間)						
評価方法等 課題へのフィードバック等	定期試験		その他の評価方法		課題へのフィードバック等		
	筆記試験	レポート	授業内で行う課題レポート 30%		授業内で行った課題レポートは個別に添削し返却する。		
オフィスアワー	学期ごとに掲示版にて連絡する						
学生へのメッセージ (150文字程度)	日常生活における相談や友人関係の会話とは異なるカウンセリング特有の会話、人間関係について理解するとともに、基本的な技法を学ぶことで、自らのコミュニケーションのあり方を見つめ直し、医療の現場に役立つコミュニケーション能力を高めてほしい。						
教科書	書名	なし					
	著者名		出版社				
参考書	書名	マイクロカウンセリング技法－事例場面から学ぶ－					
	著者名	福原真知子	出版社	風間書房			

授業計画 (各回ごとのテーマと内容について)			
回=90分	テーマ	担当	内容(70字以内)
1	カウンセリングとは	安田悠子	講義の進め方 カウンセリングの定義や特徴を理解する
2	マイクロカウンセリング技法	安田悠子	マイクロカウンセリング技法の特徴について理解する
3	基本的かかわり技法1	安田悠子	「かかわり行動」「質問技法」「はげまし技法」「いいかえ技法」
4	基本的かかわり技法2	安田悠子	「感情の反映技法」「要約技法」 クライアントの長い発言の要約の仕方を学ぶ
5	基本的かかわり技法3	安田悠子	5段階の面接(ラポール・面接の構造化・問題の定義・目標の定義・選択肢の探求、一般化)
6	基本的傾聴技法と積極技法の連携1	安田悠子	事例場面の応答の仕方について「悪い例」と「良い例」を比較し、どのように傾聴したらよいか学ぶ
7	基本的傾聴技法と積極技法の連携2	安田悠子	事例場面全体を通して応答に仕方を考える 医療の現場における傾聴の重要性について考える
8	まとめ	安田悠子	講義と演習を振り返って、体験から学んだことを整理する

